

卒後臨床研修プログラム・診療科紹介



社会福祉法人
思順財団
済生会京都府病院

【 内 科 】の紹介

基本情報

研修期間	24 週（必修科目）
研修目標	<p>社会常識を身につけ、まず患者に対して、一方的に上からの目線で診療にあたるような思い上がりのある低俗な医師にならないよう指導する。しっかり研修をつみながら医師であることに誇りがもてるようになっていただくとともに、ひとつ医学の範囲をはずれると無知であることもたくさんある、だから社会人としても先輩にあたる患者から学ばせてもらうことも多いのだ、という謙虚な態度で患者に接することができるように指導する。これが当院の初期研修の神髄である。</p> <p>初期研修プログラムとして経験を積んでいただく必修項目や選択項目については、基本的な内科診断学、治療指針、実技にいたるまで十分カバーできるよう指導する。</p>
カリキュラム	<p>①当院は地域中核病院であるため多岐にわたる内科疾患を指導医とともに経験していただける。教育方法は基本的にマンツーマンであり、またその指導中に生じてきたさまざまな問題については月 1 回の臨床研修サポートチームのミーティングでとりあげ、チームメンバーが討議して解決法を考えていくきめ細かな教育システムをとっている。</p> <p>②週 1 回内科ミーティングでは受け持ち症例の提示を行い、研修医自身の理解度をみながら問題点を指摘し診療能力の向上を目指すとともにプレゼンテーションの能力もみがいていく。</p> <p>③週 1 回の、内科症例検討道場では、診療部長が、毎週新しい症例を提示してメール配信し、画像については特設の画像閲覧サイトを設けてアップロードしている。研修医は配信された症例提示文を読み、画像は閲覧サイトからダウンロードしていただき、1 週間かけて診断、治療を考えていただく。翌週に、部長の司会による症例検討会で検討し、正しい診断、治療を理解していただく。検討会終了後は、知識をもう一度整理していただくために、部長の熱いメッセージを盛り込んだ詳しい解説（平均A5サイズ3~5 ページ）が配信されるとともに、次週の新しい問題も配信される。</p>
選択科目	<p>選択科目として内科を選ばれた場合は、研修医の希望次第では、専攻医での研修への橋渡しとなるようなより専門的な知識や技能の習得なども盛り込んだ内容にまで研修内容を広げることも可能である。</p>

○医師紹介

●総合診療内科・消化器内科

氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
中島 智樹	診療部長	S63	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 インфекションコントロールドクター（ICD）	総合診療、内科全般、 肝臓・消化器全般
伊藤 博信	総合診療内科 部長	H4	日本医師会認定産業医	総合診療、内科一般
大野 智之	消化器内科 部長	H5	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定施設指導医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医	消化管、消化器全般
山岡 純子	総合診療内科 副部長	H10	日本内科学会認定総合内科専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	総合診療、肝臓、消 化器全般
森本 泰隆	消化器内科 副部長 内視鏡室長	H14	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 インフェクションコントロールドクター（ICD）	消化管、消化器全般
渋谷 明子	医長	H10	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	総合診療 肝臓・消化器全般
富江 晃	医長	H18	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本食道学会食道科認定医	消化管、消化器全般

<常勤顧問>

中嶋 俊彰	支部長	S49	日本消化器病学会認定施設指導医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	肝臓、消化器全般
大石 亨	顧問	S55		消化管、消化器全般

●循環器内科

氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
石橋 一哉	部長	S63	日本循環器学会認定循環器専門医 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医 日本内科学会認定総合内科専門医	循環器・不整脈・カ テーテルアブレーション
彦坂 高徹	副部長	H9	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器・内科一般
赤壁 佳樹	副部長	H16	日本内科学会認定内科医	循環器・内科一般
坂東 沙織	医長	H23		循環器・内科一般

●糖尿病内科

氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
中村 直登	院長	S51	日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	糖尿病・内科一般
木村 寿宏	医長	H20	日本内科学会認定内科医	糖尿病・内科一般

●呼吸器内科

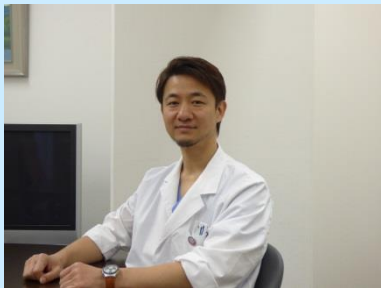
氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
張田 幸	医長	H17	日本内科学会認定内科医	呼吸器・内科一般
古谷 渉	医長	H24	日本内科学会認定内科医 日本禁煙学会禁煙認定指導医 日本結核病学会結核抗酸菌症認定医	呼吸器・内科一般

●腎臓内科

氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
上野 里紗	医長	H19	日本内科学会認定総合内科専門医 日本腎臓学会認定腎臓専門医 日本透析医学会認定透析専門医	腎臓・内科一般
山下 紀行	医長	H22	日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会認定腎臓専門医 日本透析医学会認定透析専門医 日本急性血液浄化学会認定指導者	腎臓・内科一般

○教育担当医からのメッセージ

消化器内科



森本先生

まずはみなさんの関心が高い消化器疾患の初診時対応、救急対応を内科医として救急当直ができる程度までスキルアップすることを目標にしています。さらに消化器系入院患者を担当しながら、腹部エコー、上下部内視鏡検査、ERCP、血管造影など処置系手技についても積極的に治療参加して頂き、初期研修中に腹部エコーの習得、上部内視鏡検査を体験して頂くことにより、消化器内科医の魅力を伝えていけたらと思っています。習うより慣れろという言葉もありますように、まずは机上の勉強よりも実臨床を最優先とし、スキルアップしていく中で勉強したり準備することの大切さを促し、できる限り高いモチベーションを維持できる環境を作るように工夫しています。ぜひ一緒に楽しく学んで成長していきましょう。

循環器内科



赤壁先生

済生会京都府病院循環器内科は規模が小さいながら、実に様々な循環器疾患を扱っています。研修に必須の疾患は研修期間で十分網羅できるでしょう。研修中は循環器 common disease への考え方をまずみっちり学んでもらいます。それと並行し、医師として今後生きていくうえで可能ならば会得しておきたい検査（心エコー手技・心電図解釈など）をある程度できるようになればと考えカリキュラムを組んでいます。実際簡単な冠動脈造影までは研修期間でやれるようになります。一緒に救急疾患・循環器臨床にふれてみませんか？

糖尿病内科



木村先生

糖尿病は近年非常に増えてきている common disease であり、慢性炎症の観点でも注目されている疾患です。当院の糖尿病内科では各患者さんの病態に応じた食事・運動療法、薬物療法の選択を行うなかで、どのように考えていくべきなのか、教科書には載っていない考え方を実症例を通して学んでいってもらいます。基本的なインスリンの使い方に始まり、内服への切り替えなど患者さんに最適な選択をみなさんと一緒に考えていくようにしています。

呼吸器内科



古谷先生

呼吸器内科では肺炎、COPD、間質性肺炎、肺癌や喘息など、感染症から喫煙関連肺疾患、悪性腫瘍、アレルギーまでの幅広い分野を扱い、超高齢社会でニーズが高まっています。研修では、基本的には入院患者の担当医となり、各疾患の評価や治療方針について学びます。また、当科では胸部画像・生理検査や気管支内視鏡検査や胸水穿刺・ドレナージを行います。これらについて理解を深めていただくことも目標です。

腎臓内科



上野先生

腎臓は全身を映す鏡です。腎臓を診るということは全身を診るということだと思っています。当院の腎臓内科では全身を診る、全身を管理する、を目標に学んでいきます。まずはみなさんには体液（水分・電解質）管理、血圧管理をしっかりできるようになっていただきます。また腎疾患に関しては、検尿異常から腎生検で確定診断をつけるまでのプロセス・治療、CKD 検査教育入院を通してのCKD 管理方法、シャント手術・腹膜透析手術・導入期の管理の仕方・血液透析腹膜透析の仕組み、など一連を学んでいただくことができます。急性血液浄化も一緒に診て学んでいただきます。何より腎臓大好き腎臓へのリスペクトを欠かさない腎臓バカ Dr が常に2人在任しているため、腎臓への愛をたっぷり聞け、とりこになることができます。全身を診たいあなた、腎臓を好きになりかけているあなた、そうでもないあなた、私たちと一緒に腎臓バカになりませんか？いつでもお待ちしております。



内科カンファレンス

循環器内科カンファレンス

